

日置市湯之元駅周辺地区バリアフリー基本構想策定

第2回協議会 兼 まち歩きワークショップ

参加者の皆様へ

目次

1. まち歩きワークショップの概要	1
1-1 開催日時	1
1-2 開催場所	1
1-3 まち歩きワークショップの目的	1
1-4 次第	1
2. まち歩き（現地点検）について	2
2-1 点検ルート	2
2-2 参加者	6
2-3 点検方法	8
3. 意見交換・整理について	11
4. 注意事項	12

1. まち歩きワークショップの概要

1-1 開催日時

2024 年 10 月 10 日（木）

9：00～12：00

1-2 開催場所

東市来総合福祉センター

2 階会議室

1-3 まち歩きワークショップの目的

バリアフリー基本構想の検討にあたり、利用者の立場から現地を確認し、「湯之元駅周辺地区」におけるバリアフリー化に向けた課題抽出を行います。

そして、現地で指摘された課題及びバリアフリーに関する意見や意向等について意見交換いただき、整理することで基本的方針や特定事業の抽出等に反映させることを目的としています。

1-4 次第

次第	
9：00～9：10	事前説明（10 分）
9:10～11：05	現地点検スタート（115 分）※終了次第各自休憩
11：05～11：55	意見交換・整理、発表（50 分）
11：55～12：00	閉会

※駐車場は日置市東市来総合福祉センター前の J A さつま日置（日置市東市来町湯田 3254）をお使いください。

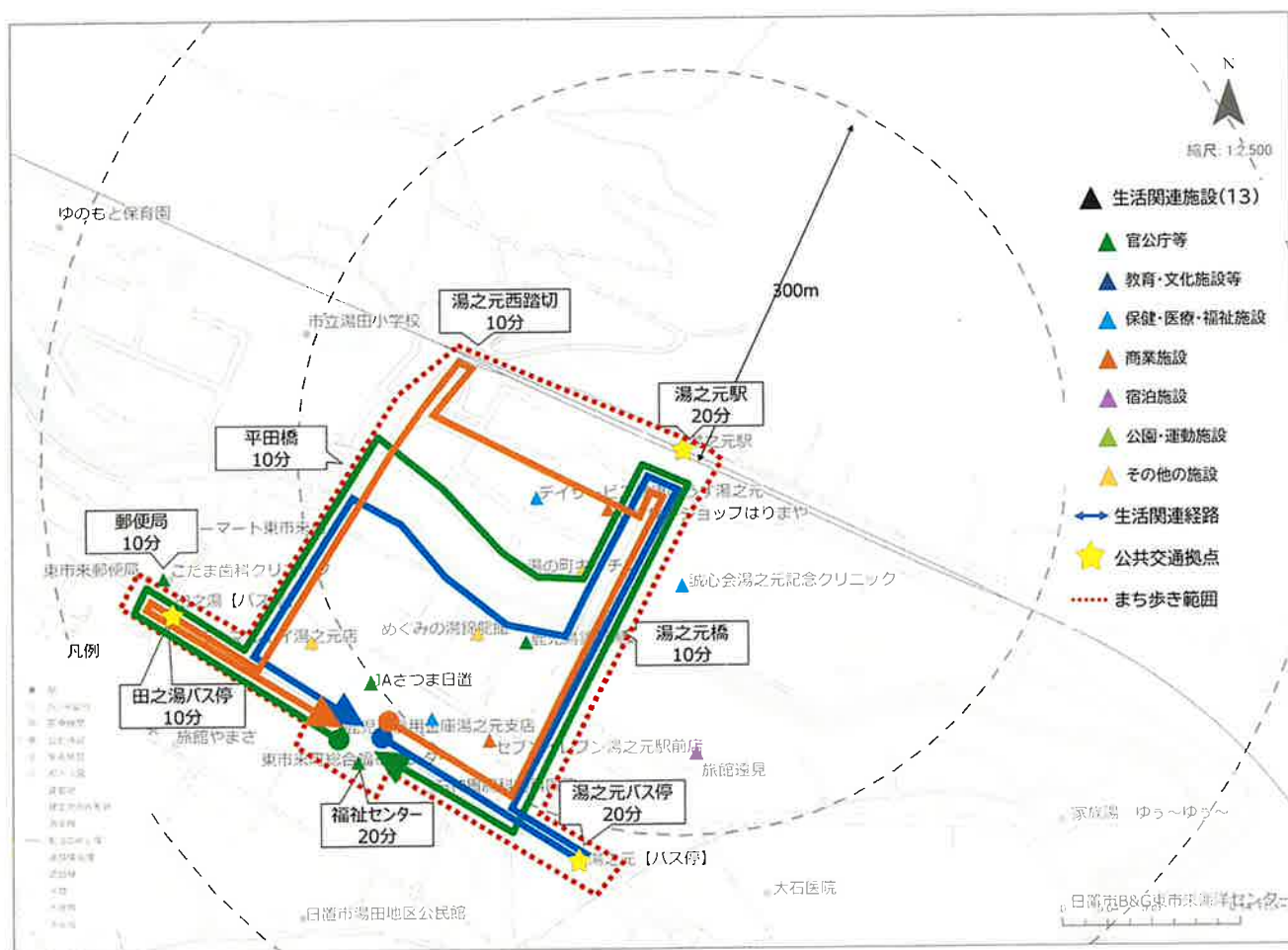
2. まち歩き（現地点検）について

2-1 点検ルート

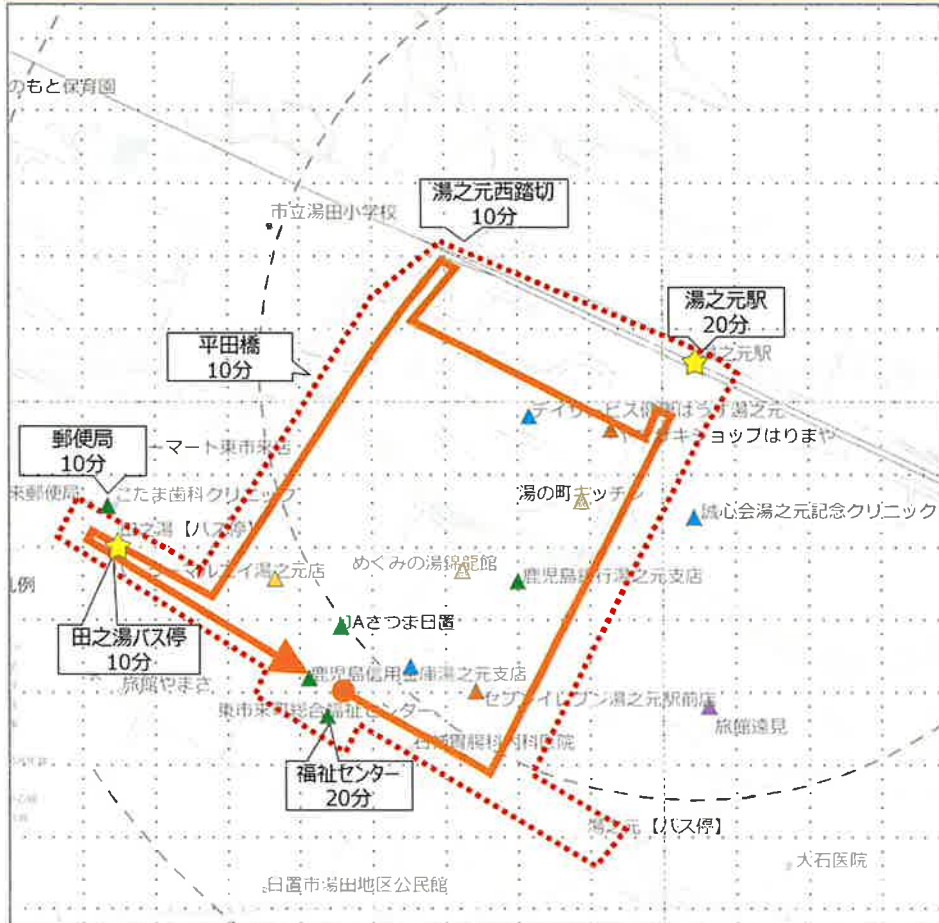
3 班に分かれ、班ごとにチェックシートをもとに点検を行います。

なお、今回の現地点検では、湯之元駅周辺地区のすべての生活関連経路を点検することはできませんが、同封しています「意見シート（資料 2）」にて、後日にでもご意見等がございましたらお知らせください。

グループ	ルート
グループ①	湯之元駅～平田橋～田之湯バス停～郵便局
グループ②	湯之元バス停～湯之元駅～湯之元橋
グループ③	福祉センター～田之湯バス停～郵便局～湯之元駅



グループ①



グループ②

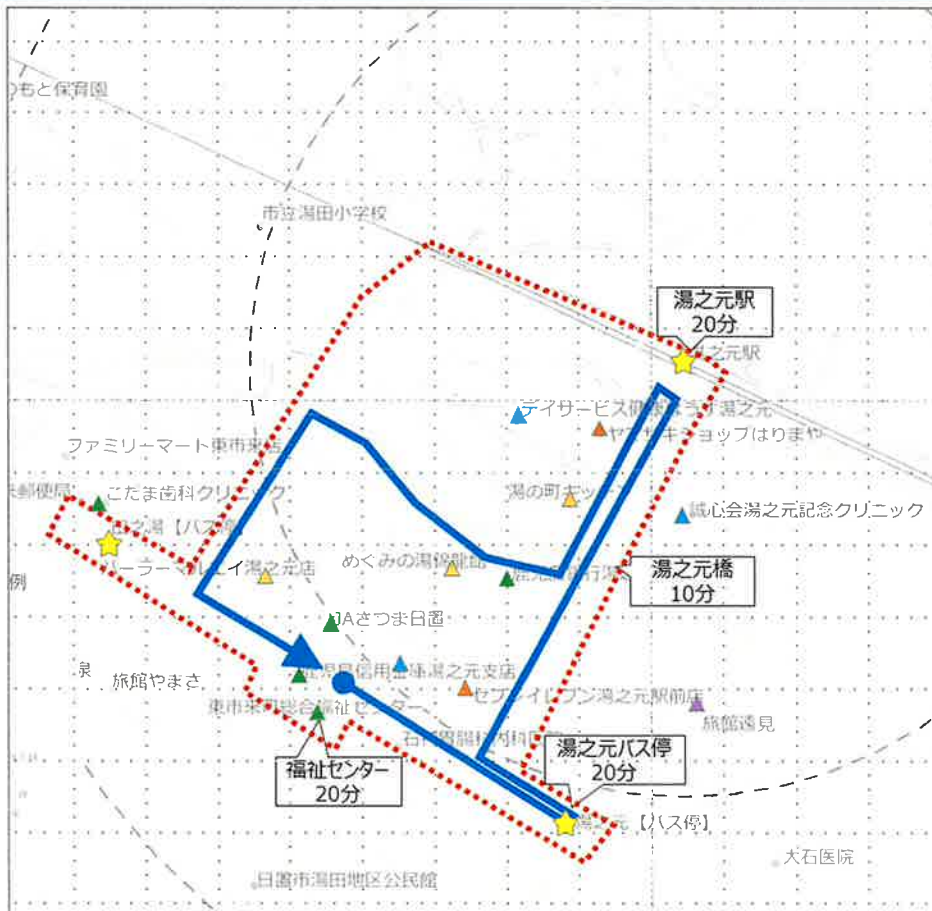
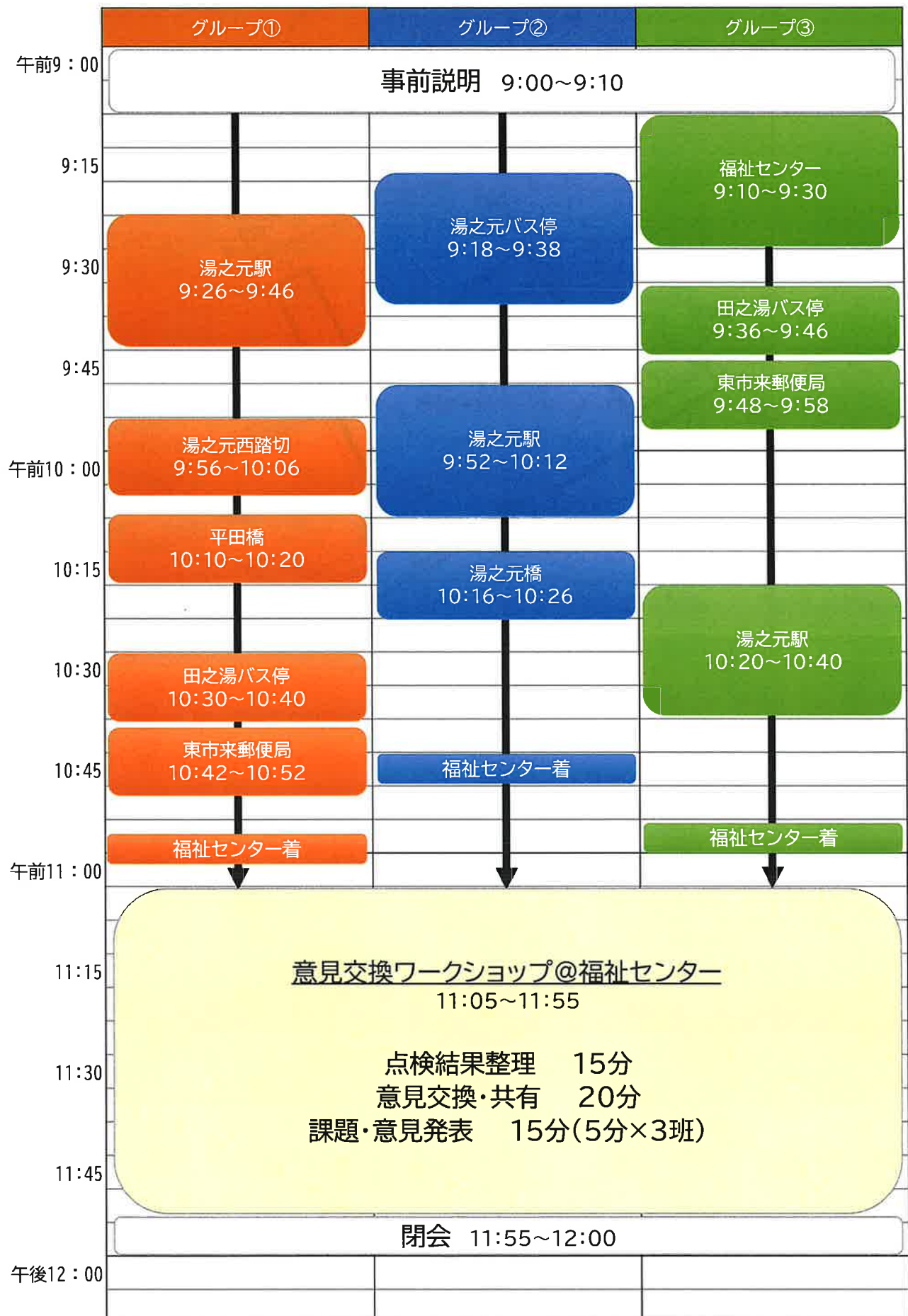


表 当日のタイムスケジュール



2-2 参加者

班分け及び各委員の役割は以下のとおりです。班分け及び各委員の役割については、当日の時間の都合上あらかじめ決めております。不都合のある場合は事務局スタッフまでお申し付けください。

なお、事務局スタッフとして地域振興課及び国際航業㈱の職員が現地点検において、補助誘導のため各班に同行しますので、何かございましたらお声掛けください。

グループ①

所属・職名	氏名	役割
鹿児島女子短期大学・名誉教授	古川 恵子	リーダー (発表者)
日置市高齢者クラブ連合会東市来支部・事務局長	上養母 義文	サブリーダー
日置市役所福祉課・課長	宮前 美紀	記録
日置市役所東市来支所産業建設課・課長	藤田 聖一	記録
鹿児島地域振興局建設部土木建築課・課長	栗野 克大	点検
九州旅客鉄道株式会社鹿児島支社・副支社長	宮崎 恵介	点検
国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所・交通対策課長	由浅 直洋 ※代理：中藺 雅人	点検
		点検(車いす利用)

事務局スタッフ（補助誘導：地域振興課 佐々木・松元、撮影係：国際航業 松元）

グループ②

所属・職名	氏名	役割
東市来地域自治会長連絡協議会・会長	住吉 伸一	リーダー (発表者)
日置市身体障害者協会東市来支部・支部長	國分 隆	サブリーダー
国土交通省九州運輸局鹿児島運輸支局・企画調整担当/主席運輸企画専門官	谷口 誠一	記録
日置市役所介護保険課・課長	入佐 好彦	記録
日置警察署・地域課長代理	堀添 真吾	点検
鹿児島交通株式会社・乗合営業部課長	三倉 康	点検
九州旅客鉄道株式会社鹿児島支社・営業部企画課副課長	西尾 裕介	点検

事務局スタッフ（補助誘導：地域振興課 田口、撮影係：国際航業 松浦）

グループ③

所属・職名	氏名	役割
湯田地区公民館・館長	国分 高明	リーダー (発表者)
日置市商工会東市来支所・支所長	神之田 雅弘	サブリーダー
日置市役所地域づくり課・課長	濱崎 慎一郎	記録
日置市役所学校教育課・課長	中鉢 吉彦	記録
第一交通株式会社串木野営業所・所長	田中 初己	点検
鹿児島県総合政策部交通政策課・課長	鈴木 圭祐	点検
九州旅客鉄道株式会社鹿児島支社工務部・ 工事課 課長代理	松田 星人	点検
国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所・ 交通対策課長	由浅 直洋 ※代理：村上 晃太郎	点検

事務局スタッフ（補助誘導：地域振興課 横枕、撮影係：国際航業 川村）

各委員の役割

役割	担当する内容
リーダー（発表者） サブリーダー	・引率、課題点の確認、タイムキーパーをお願いします。 ・意見交換時は、進行を行ってください。その際、出来るだけグループ内の全員の方が発言できるようにお願いします。 ・意見交換時の発表をお願いします。
点検	・点検するルート、施設内を歩きながら、気になった点や課題点、意見を出してください。点検箇所、項目はチェックシートを参考にしてください。 ・特に気になる点については、写真撮影係（事務局スタッフ）に撮影してもらってください。
記録	・グループ内で出される課題点を聞き取り、チェックシートに記録してください。 ・各委員の発言内容をチェックシートに記録してください。自由意見がたくさんあるようであれば、チェックシート裏面等を使って記録してください。

2-3 点検方法

(1)点検の方法

ルートを歩きながら、気になった点や課題点等をチェックシートに記録してください。特に気になった箇所（課題のある箇所、望ましい整備が行われている箇所）では、写真を撮影しますので、事務局スタッフにお声がけください。

(2)点検の注意点

①普段の生活（買い物など）でどの道をどのように歩いているか思い出してください。

②「どうすれば道路環境が良くなるか」という視点で歩いてください。

（例：高齢者、車いす使用者、視覚障害の人（全盲、弱視）、聴覚障害の人、妊婦、小さな子供連れの人、松葉杖の人、大きな荷物を持った人、市外から来た人など）

③駅の周りに来る様々な目的を想定してください。個別の施設の使いやすさだけでなく、その目的を果たすための一連の行動を想像してください。

④いろいろな場面を想定してください。

（例：災害時、雨の日、暑い夏、寒い冬、お店の開いていない早朝・深夜や定休日、人の多い通勤時間帯、手に荷物を持っているとき、とても疲れているときなど）

(3)点検する項目

歩きづらい／歩きやすい、危ない／安全、使いづらい／使いやすいといった場所について、以下に示す4つのキーワードをもとに確認して下さい。

①歩きづらいところ ⇄ 歩きやすいところ

（段差がある・無い、凹凸がある・無い等）

②困ったところ・危ないところ ⇄ 安全なところ

（道路・通路が狭い・広い、誘導ブロックがはがれている・わかりやすい、信号がみづらい・みやすい等）

③使いづらいところ ⇄ 使いやすいところ

（階段に手すりが無い・ある、スロープの勾配がきつい・ゆるい等）

④その他

(4)チェックシートの記録方法

チェックシートは、点検用地図（対象施設平面図・ルート図）と、各項目のチェックシートから構成されています。チェックシートの項目は、以下に基づき作成しています。

○公共交通移動等円滑化基準（国土交通省省令）

○道路移動等円滑化基準（国土交通省省令）

○建築物移動等円滑化基準（国土交通省省令）

○公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン 旅客施設編（令和6年3月、国土交通省総合政策局）

○道路の移動円滑化に関するガイドライン（令和6年1月、国土交通省道路局）

●チェックシート地図記入例

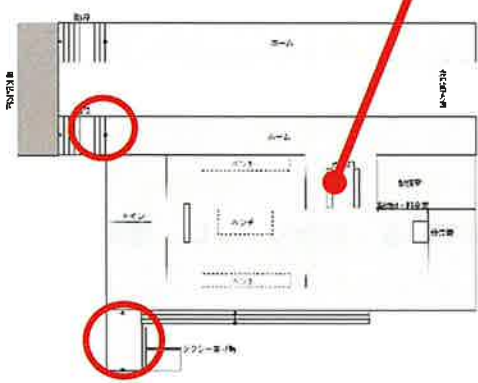
指摘箇所を丸で印をつけて
おいてください

湯之元駅周辺地区バリアフリー基本構想
まち歩きワークショップ

JR湯之元駅 チェックシート

グループ: _____ 氏名: _____

※駅周辺空間の現状と異なる場合があります



■施設や設備が、あらゆる人にとって移動しやすいもの・使いやすいものとなっているかを
チェックシートにしたがって点検してください。

【チェック箇所】

- 歩きづらいところ（段差や高低差がある、凹凸がある 等）
- 困ったところ・危ないところ（道路・通路が狭い、誘導ブロックがはがれている 等）
- 使いづらいところ（階段に手すりがない、スロープの勾配がきつい 等）
- 案内板がわかりにくいところ

■写真を撮影した箇所は、しるしをつけておいてください。

■その他の意見等については、【その他特記事項】欄に記入してください。

※出典：「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン」

湯之元駅周辺地区バリアフリー基本構想
まち歩きワークショップ

道路等 チェックシート（国道3号線）

グループ: _____ 氏名: _____



■施設や設備が、あらゆる人にとって移動しやすいもの・使いやすいものとなっているかを
チェックシートにしたがって点検してください。

【チェック箇所】

- 歩きづらいところ（段差や高低差がある、凹凸がある 等）
- 困ったところ・危ないところ（道路・通路が狭い、誘導ブロックがはがれている 等）
- 使いづらいところ（階段に手すりがない、スロープの勾配がきつい 等）
- 案内板がわかりにくいところ

■写真を撮影した箇所は、しるしをつけておいてください。

■その他の意見等については、【その他特記事項】欄に記入してください。

※出典：「道路の移動円滑化に関するガイドライン」

●チェックシート記入例

点検箇所、道路ごとにチェックシートがあります

国のガイドライン等の基準を記載しています

現状について当てはまる項目にチェックしてください

湯之元駅周辺地区バリアフリー基本構想
まち歩きワークショップ

道路等 チェックシート(国道3号線) グループ: 氏名:

チェック項目	状況		点検して感じたこと
	ガイドライン	現状	
道路			
歩道幅員	有効幅員が3.5m(歩行者交通量の多い道路)、2.0m(その他の道路) ※やむを得ない場合は当分の間1.5mとすることができる ●現道 1.5~2.0m ●用地拡幅 約5.0m ●整備後 2.5m	☐ 広い ☐ 狭い ☐ 歩きやすい、通行しやすい ☐ 歩きにくい、通行しにくい ☐ シニアカー(電動カート)が通行できる	2m=歩道上で車椅子同士のすれ違いができる寸法 1m=歩道上で車椅子使用者が通行できる寸法
舗装	平坦で滑りにくく、水はけの良い仕上がりである ●現道 透水性舗装でない	☐ 滑りにくい ☐ 滑りやすい ☐ 水はけが良い ☐ 水はけが悪い	点検して感じたことについて記入してください
勾配	横断方向1%以下(やむを得ない場合は2%以下) 縦断方向5%以下(やむを得ない場合は8%以下) ●計画では横断勾配車道2.0%、歩道2.0% ●計画では縦断勾配0.291%~4.996%	☐ 歩きやすい、通行しやすい ☐ 歩きにくい、通行しにくい ☐ 水はけが良い ☐ 水はけが悪い	
歩道等と車道等の分離	車道もしくは車道に接続する路肩がある場合、路肩又は自転車道に接続して縁石がある 歩道等に設ける縁石の車道等に対する高さは15cm以上である	☒ はい ☐ いいえ ☒ はい ☐ いいえ	
高さ	歩道等の車道等に対する高さは、5cmである。	☐ はい ☒ いいえ	
誘導ブロック	黄色または容易に認識できる色で誘導ブロックが敷設されている(点状・線状)	☐ はい ☐ いいえ	
案内標識	必要な箇所には、高齢者、障害者等が見やすい位置に、必要な施設の案内標識がある	☐ はい ☐ いいえ	
その他特記事項	自由意見があればその他特記事項の欄に記入して下さい。欄が足りない場合はチェックシートの裏面を利用してください		

3. 意見交換・整理について

(1) 班ごとに、湯之元駅周辺地区におけるバリアフリー化に向けた課題を整理してください。(15 分)

- ・ 現地点検で指摘のあった課題や改善すべき点は、赤色の付箋に記入し、「とりまとめシート」に貼り付けてください。
- ・ 望ましい整備が行われていた点や良かった点を、黄色の付箋に記入し、「とりまとめシート」に貼り付けてください。
- ・ 挙げられた意見を内容・種類別に整理してください。(個別箇所への指摘・要望は、後日アンケートにご記入ください)
- ・ 意見がまとまらない場合は、必ずしも1つにまとめなければならないというわけではありません。複数の意見を挙げていただいても構いません。

バリアフリー化に向けた課題・改善すべき点

記入例

～なので配慮が必要
～になっていて危険である

現状で望ましい整備が行われていた点・良かった点

記入例

～が配慮されている
～が良い、安全である

(2) (1)で整理した課題に対する方策や今後の整備に関する意見を検討してください。(20 分)

- ・ 課題に対し、「①誰の」「②どのような移動(動作)を実現するため」「③どのような整備を目指すか/どのような施策を図るか」を青色の付箋に記入し、「とりまとめシート」に貼り付けてください。
- ・ 望ましい整備が行われていた点については、どうすれば持続できるかという視点から、意見を整理し、青い付箋に記入、「とりまとめシート」に貼り付けてください。
- ・ どうすれば利用者にとって使いやすくなるのかという視点から、なるべく多様な意見に配慮して、今後の整備に向けた意見を交換、整理してください。

①誰の

②～を実現するため(～できるよう)

③～をした方が良い

記入例

視覚障害を持つ方が安全に歩行できるように誘導ブロックを敷設した方が良い

～が配慮されていた(安全だった)ので、～して持続できるようにする

記入例

自転車がきちんと整列されており、通行に配慮されていたので、啓発ポスターを掲示して持続できるようにする。

(3) 整理された意見をリーダー(発表者)より発表してください。(各班約5分程度)

発表内容に関して、他の班からも意見や質問をお願いします。

4. 注意事項

常に安全を念頭に点検にあたってください、健康状態及び周辺状況(安全・環境・天候等)への配慮を最優先にお願いいたします。

①体調不良について

体調不良の場合は、すぐに事務局スタッフにお知らせください。

また、熱中症予防のため、下記の対策をお願いします。

- ・ 涼しい服装、日傘や帽子の利用
- ・ 少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動
- ・ できる限り、日陰を利用した調査実施
- ・ 水分・塩分補給（のどが渇いていなくてもこまめに水分補給）

②雨天時の対応

雨天時は雨除け可能な場所を見つけ、その場所を拠点として点検を行うようにしてください。点検困難な天候時は、点検を中止します。

③交通安全への配慮

交通ルールを遵守し、安全に配慮して点検を行ってください。時間の制約の中での作業となりますが、安全第一での行動をお願い致します。

万が一、事故やトラブルが発生した場合は、速やかに状況(誰(何)が、いつ、どこで、どうした)を事務局スタッフに報告してください。

④ホーム上での注意

列車と接触することのないよう、またホーム上から転落することのないよう、プラットホーム上での作業はホーム中央部から行うようにしてください。ホーム中央部からの目視点検を基本とし、危険が伴うような測量・点検行為は絶対に行わないでください。

電車の往来時は作業を一時中断し、ホーム中央部で立ち止まって待機してください。

